

うきしま

第81号

令和5年3月20日
PTA広報部

令和4年度 卒業証書授与式

式 辞



校舎の窓から吹き込む夜風はまだ冷たいものの、日中の日差しには確かな春の訪れを感じる早春の今日、ここに京都府立東舞鶴

高等学校浮島分校、令和4年度卒業式を挙行できますことを、心からうれしく思います。
また、御来賓として、たいへん御多忙の中を御臨席賜りました京都府議会議員

池田 正義 様
本校同窓会長
福本 清 様

本校定時制PTA代表
吉田 寿代 様

には、ともに卒業生の門出をお祝いだけますことに、高段からではございますが、厚く御礼申し上げます。

只今、卒業証書を手にされた一名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。先ほど、真っ直ぐ前を見て入場してくる皆さんの顔、今、椅子に座るキリリとしたスーツやドレス、和服の姿は、本当に晴れがましく、「おめでとう」と声をかける価値のある誇らしい姿です。

本日の栄えある卒業は、何よりも皆さん一人ひとりの地道な努力と粘り強い辛抱の結果であることは言うまでもありません。しかし、同時に、いつも皆さんを温かく見守り育んでくださった御家族や身

近な方々、そして先生方や、先輩・後輩・友人たちの支えがあったからこそ、今日があるということも決して忘れないでほしいと思います。

卒業生の御家族の皆様、このたびの御卒業、誠におめでとうございます。今日の佳き日を迎え、立派に成長された卒業生の姿に感慨もひとしおのことと存じます。教職員を代表して、心よりお慶びを申し上げます。

さて、卒業生の皆さんが過ごした高校生活は、まさに長期化するコロナ禍とともにあった高校生活と言ってもよいものでした。このコロナ禍のためには悔しい思いや戸惑いを感じることも皆さんにはあったことと思います。そこにさらに、ロシアのウクライナ侵攻が重なりました。ちょうど一年前のこととです。私たちは油断していません。「まさか、こんなことは起きないだろう」と。しかし、起こってしまいました。事態は解決の糸口さえ見えず、日本に住む私たちの生活にも直接的・間接的に大きな影響が及んでいます。

しかし、そのような中でも皆さんは、自己研鑽に励んで、できることをひとつ、またひとつと増やし、困難な状況のなかでも、互いに力を合わせて行事をやり遂げたり、希望の進路を達成したりするなど、浮島分校生の持つたくましさで生きる力の強さを証明してく

れました。皆さんが、自ら証明してくれたのです。
世界的に有名なドイツの詩人、ゲーテは、次のような言葉を残しています。

「涙とともにパンをかじった者でなければ、人生の本当の味はわからない」

ゲーテが言うこの涙とは、きつと困難や苦勞とともに流す涙のことでしょう。しかし、困難や苦勞を重ね、人一倍の努力をして、ついに希望のものを手にしたときには、誰しもきつと大きな喜びを感じると思います。この喜びが「人生の味」です。皆さんも、各自がそれぞれにさまざまな事情を抱え、またコロナ禍という困難な時期に学校生活を送りましたから、まさに「涙とともにパンをかじった者」と言ってもよいでしょう。そして、卒業という喜ばしい「人生の味」を味わう今日の日を迎えました。

これからも、年齢を重ねる中で涙することもあるでしょうが、その後には必ず、喜びとともに味わう「人生の本物の味」が待っています。それを信じて、一步一步、歩んでほしいと、心から願っています。

私は常々、皆さんに「小さなゴールを積み重ねよう」と言い続けてきました。また、皆さんがそれをやり遂げるたびに、「OKです」と伝えてきました。それは、明日

のこと、未来のことを過剰に心配したり、不安に思ったりすることなく、一日一日を、一瞬一瞬を一杯生きてほしい、という願いでもありました。浮島分校の先生方も、そんな気持ちで皆さんを迎え、皆さんはそれに応えて小さなゴールを積み重ねて、今日、見事に卒業を迎えました。今日が高校生活最後の小さなゴールです。本当によく頑張りました。OKです。

私たちは、大小の困難や苦労をくぐり抜ける間に忍耐や自信を身につけることができます。そして忍耐や自信によって、私たちの人間性や品性が磨かれ、成長します。その成長の先に必ず希望が見えてくるのです。きっと、ウクライナの戦禍の中にある人たちの多くも、現に涙とともにパンをかじりながら、一日一日を精一杯生きることを繰り返しつつ、未来への希望も失っていないと私は思うのです。

これから皆さんも、あきらめることなく、放り出すことなく、求め続け、探し続け、入り口の戸をたたき続け、それぞれの困難を克服して未来の希望を育ててください。そのために、まずは目の前の今日を、今を大切に、精一杯生きることを繰り返してください。

卒業は決して「終わり」ではなく「始まり」です。まさに新しい人生へのスタートです。高校卒業後の新しいスタートは、名実ともに大人としての人生のスタートで

もあるのです。ぜひ卒業生の皆さんには自他ともに認められる大人として、自分の言動に責任を持つよう、人間の中身も外見も引き続き磨き続けてほしいと思います。正義をめざし強く、雄々しくあってください。恐れることなく、おののくことなく前に進みましよう。必ずあなた方を支え、守ってくださいさる方がおられます。そして、もしも何かに行き詰まった時には、私たち浮島分校も、可能な限り皆さんの力になれるようにします。

後になりましたが、御家族の皆様には、今日まで浮島分校の教育に対して深い御理解と温かい御協力をお願いいたします。卒業後にも引き続き浮島分校を応援していただきますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、今日この学び舎を旅立つていく卒業生の皆さんの前途が幸多きものとなることを心から祈念いたしますとともに、本日御出席いただいた全ての方々の御健勝と御多幸を祈念し、式辞といたします。

令和五年三月一日

京都府立東舞鶴高等学校

校長 塩尻 徹



卒業生入場 (担任・山段 優)

各学年より

一年担任 稲原 秀紀

今年度もコロナ、コロナと何れ何かと制限される年となりました。来年度は本来の生活が戻るとを期待したいです。

さて、一年生の皆さんは浮島での高校生活が一年経過しようとしています。

新たな生活がスタートし、慣れないことの連続だったと思いますが、よく一年間頑張りました。今までできなかったことができるようになったり、新たなことに挑戦したり、それぞれチャレンジの一年になったのではないでしょう

か。高校生活はまだまだこれからです。現状に満足することなく、次年度も充実した時間を過ごしてください。

二年担任 温井 正人

今年一月終わりには強風でホワイトアウトになる雪日がありましたが、幸いにも全体的に少ない降雪日で春を迎えられました。

二年生は一名が家庭の事情で欠員が出ましたが、それ以外は無事進級となり喜ばしい限りです。今年度は三学期に久々のボウリング大会も実施され、各学行事に積極的に参加できました。

残る二年間も、勉学、学校行事、生徒会活動、アルバイトを通してさらに学校生活を充実させ、また、就職を意識して欠席はできる限りしないよう努めましょう。



令和4年度卒業証書授与式 開式



卒業証書授与

三年担任 山本彰治

一月末には十年に一度の寒波が日本列島を襲い、舞鶴の地も一時陸の孤島となりかけました。幸い被害もなく過ごすことができたのであります。
 二月には三年ぶりに四年生を送るボーリング大会が行われ、ました。徐々にコロナ禍から抜け出し、平常生活を取り戻しつつあります。卒業式も教職員と卒業生はマスクを外しての式典になりました。新四年生には五名が進級予定です。全員が進路を決定し、晴れやかな卒業式を迎えられることを願っています。

四年担任 山段 優

三月一日。十一名の四年生が全員揃ってこの学校を卒業していきましました。卒業式でのみんなの凛々しい姿を思い出しながら、無事に卒業式を終えられ、ほっとした気持ちでいっぱいです。
 四年間、様々なことがあったと思います。たくさん成長したと思います。四年間しっかりとやりきったことを自信に、次のステージに進んでください。
 担任としては至らない部分が多々あったと思いますが、ご理解、ご協力をありがとうございます。また会う日まで、お元気で。



在校生送辞 (代表・藤井 天成)

PTA会員より

※卒業記念文集「うずしお」より

より

日常生活で思うこと

大谷 路代

何をするにも面倒くさくて、うっとうしくてダラダラとしてしまいう時期があります。それはそれでいいと思います。今まで出来なかった事があって焦ってしまうかも知れませんが、周囲と比べたがって比べて焦ります。焦らない人もいるかと思えます。

何かをしようとしている時、良いタイミングで協力してくれる人が現れます。一人で考えないで周りの人の話に耳を傾けて聴いたりして、自分の好きな事を見つけてみて下さい。これをしている時「楽しいなあ」と思える事をやってみたらいいのかなあ。楽しい事は続けられるし、得意な事につながって、気づいたら好きな事出来てる、仕事をする。って思ったら、うれしくなって最高ですよ。

我が子への思い

匿名希望

「バイト行ってくる」

「学校行ってくる」

「試合、大会行ってくる」

「行ってくる」「行ってくるよ」

と、四年間あつという間に過ぎていきました。子どもたちの大切な時間も、コロナ禍で楽しいことばかりではなかったでしょう。

感染対策の中のバドミントン大会。一度も娘の晴れ姿を観戦することもなく、動画で小さく映る娘。一緒に喜び合うことができません。いままでした。

コロナ禍で経験したことは、きつといいことも悪いことも何かの役に立つはずでです。どんなことでも全力で向き合っていたほしいと思います。

これからも、しばらくはマスク生活は続くことでしょう。でも、笑顔忘れずに自分の未来を見つけてほしいです。

大切な娘へ。
 愛しています。
 そして、ありがとう。

学年部以外の校務分掌より

教務部長 村上 和也

この一年学習を中心に様子を見てきました。ここ数年は浮島分校では落ち着いた学習活動ができており、生徒たちもまじめに取り組んでいます。中学校までは欠席が多く、高等学校でも登校していくことができるか不安のあった生徒が多数在籍しています。そのような生徒にとつて学校へ登校することだけでも高いハードルであるのですが、それぞれによくがんばっています。その分おとなしいので文化祭などではパフォーマンスを發揮しにくいようですが、得意なことを意欲的に発表している生徒もあり、よくやっています。

学校を休んでしまう生徒もいます。そのような生徒でも心の成長とともに逞しくなり、信頼を得られるように変化しつつあるようです。

このような生徒の成長が大変うれしく、これからの暖かな季節のような晴れやかな気持ちになれる一年の終わりを迎えることができました。

人権教育部・生徒指導部長 山本 達也

今年度も一年間、学校は総じて落ち着いており、和やかな雰囲気にも包まれていました。一方、体的にも欠席数が多くなりました。人権問題も、頑張りたくても頑張りなかつたり、どうしても前向きになれなかつたりするときはあります。そんなときに人との関わりが何よりも大切になつてきます。生徒のみなさんは、どうかしんどくなつたら周囲の大人や友人に、少しでもいいので話してみよう。

保護者等のみなさまにおかれましては、来年度も引き続きお子様を励まし学校へ送り出していただきたく存じます。御支援のほど、何卒よろしくお願いいたします。



卒業生答辞 (代表・沼田 直也)

進路指導部長 森戸 康博

今年度の卒業生は、新しく就職先を決めた方、現職を続ける方、専門学校へ進学する方など、例年通り、定時制らしくバラエティーに富んでいます。中でも地元で新社会人となられる方が多く、今後の活躍が楽しみであります。

在校生諸君も、地道に学業を続けると共に、昼間に多くの経験を積み、自分の得意なことを見つけて伸ばしてください。良き先輩に倣い、定時制のメリットを活かして、学校では出来ない経験を積み、立派な社会人となつてくれることを願っています。

保健部長 太下 絵里香

緩和されていきましたが、今年度も感染症対策と共にあった一年でした。みなさんが感染症対策に励んでくれていたおかげで、感染症の欠席も少なく、集団で感染することもありませんでした。新型コロナウイルス感染症は、令和五年五月八日より、季節性のインフルエンザと同じ第五類の感染症として扱われる予定です。措置や対応が変わってきます。随時お知らせしていきたいと思えます。

新年度も健康維持・増進に気をつけて自分の健康管理をしてほしいと思います。

トピックス

☆全国高等学校校定時制通信制 教育振興会

令和4年度優秀生徒表彰

○成績優秀

4年 吉田 光太郎

○生徒会活動功労

4年 小野 花

☆京都府高等学校校定時制通信制 教育振興会

令和4年度功労者表彰

スポーツ功労

4年 小嶋 琴星

☆京都府高等学校体育連盟

定時制通信制両丹支部表彰

バドミントン部

4年 小嶋 琴星



記念写真撮影